

ウイズコロナの時代



当院では、昨年の4月新型コロナウイルスが問題になりはじめた頃、最初の患者さんに遭遇しました。最初は小田原市立病院に入院させていただき、その後足柄上病院で治療していただき回復した方1名を経験しましたが、その後は現在まであまり危ない目にはあつてはいません。

当時外来患者でPCR検査を希望する人がいても「帰国者、接触者相談センター」に連絡して見たが要領を得なく、PCR検査は1人も受けられなかった。当地区の「帰国者、接触者相談センター」の窓口には2〜3人の人しかいないように感じられた。この頃までは発熱や咳が続く人だけが対象となっていたが違った。

保健所の人員もどんどん削減され、以前は足柄上保健所だったが、最近では小田原保健所に合併されて、その支所になっている。その窓口では相談やPCR検査の手配など無理な話だ。

病院に関してもコロナ患者が増えるのと病床が足りないという騒いでいるが、これもつい最近まで病床数をどんどん減らして来た結果なのだ。こういう医療をスリム化しようという計画がいざという時の余裕をなくして来たのだ。次にはポストコロナのことになります。



第1回の緊急事態宣言が解除された頃読んだ本によると、15世紀頃のルネッサンスはペストなどのパンデミック後に起こったということで、今回もこの新型コロナウイルスのパンデミック後には世界中でルネッサンスのようなことが起こるのではないかと書く人を書いていて、少しワクワクする感じでした。しかし冬に入ってからのはあまりそうということが言われなくなっています。

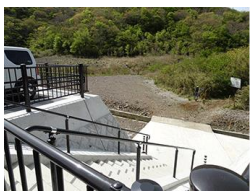
冬以後の欧米の識者の書いたものの中では、このコロナに対しては、独裁の国の方が対策もうまく行った感じもあるのでは、国民が独裁を好む傾向が出るのではないかと心配するものが増えてきた。

今年の4月に医療従事者の1回目の予防接種が始まり、高齢者の予防接種は集団接種(五月二十三日から)個別接種が(六月一日から)始まることになりました。

この地域からは、まだあまり感染者が出ない内に予防接種が始まるので、今後患者の増加は抑えられるものと考えています。

箱根金太郎ライン

これまで、林道であった金時山を通る林道が、一般道路箱根金太郎ラインという名称で開通したということ、連休最終日、5日に通ってみた。道は以前より多少広がり待避所も多くなつて、舗装もきれいになっていました。



「金時山見晴し台よりロータリー植林地を見る」

金時山のトンネル前の見晴しからロータリークラブで植林した場所を遠望してみました。木はあまり成長していませんが、見えました。

地蔵堂の入口から仙石原の出口まで約1時間かかりました。その間上から下って来る車が多く車線は1.5車線位しかないのが恐い感じでした。

仙石原では、箱根・ラリック美術館を見て芦ノ湖にいったん出て仙石原にもどり食事をして帰る路につきましました。帰りにはゆっくり下りました。それも約1時間かかりました。



「箱根・ラリック美術館庭園」

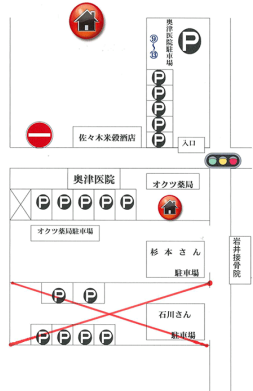
みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付からお願い

月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

*令和2年5月7日より石川さん駐車場は利用できません。ご注意ください。



5月・6月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp